



萩の里

黒部市立萩生小学校

学校だより 7号

平成30年10月5日

目指す子供の姿

やさしく かしく たくましく

《特集号》

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日、6年児童を対象として実施された「平成30年度全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりました。今年度は、教科に関する調査（国語A・B、算数A・B、理科）と質問紙調査（児童の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関するアンケート）が実施されました。

これは、6年児童のみに実施されたものであり、また、この調査によって測ることができるのは、児童の姿の一面です。しかしながら、調査結果は本校児童の学力・学習状況の傾向として捉えることができるものとも考えます。全教職員で結果をしっかりと分析し、これまでの指導の成果や課題を明らかにすることにより、全学年の授業改善につなげ、本校児童のさらなる学力向上に向けて取り組んでいきたいと思いをします。

※ 6年児童が取り組んだ調査問題・解説等の詳細については、国立教育政策研究所（文科省）のHPで公開しております。ぜひ、ご覧ください。

学力の土台は「安定した心と元気な体」!!

子供たちが意欲的に学習に取り組むためには、安定した心と元気な体が必要です。心が不安定になると、物事に集中できなかったり、すぐにくじけてしまったりしがちです。また、体が元気でないと、がんばる気持ちや挑戦しようとする気力もわいてきません。子供は、周囲からの温かい励ましや見守りによって自尊感情（自己肯定感）を高め、安定した心を育てていきます。早寝・早起き・朝ご飯などの規則正しい生活習慣は、元気な体をつくります。まずは、学習に取り組む土台となる子供たちの生活や心の状態を見つめ直したいと思いをします。

学校では、子供たちが生き生きと成就感を味わいながら学校生活を送ることができるよう、「笑顔がいっぱいの安心・安全な学校づくり」や「分かる・できる・楽しい授業づくり」に努めていきます。ご家庭でも、保護者向けリーフレット「萩っ子のやくそく」や「家庭学習の充実に向けて」等を参考に、望ましい生活習慣の定着や家庭学習の習慣化、そして何よりも、子供たちの「安定した心と元気な体」を育てることにご協力をお願いします。

荻っ子のすがた（学力調査の結果から）

【国語】

◎定着度が優れていた学習内容	▲定着度に課題の残った学習内容
・ 図書館への行き方の説明として適切なものを選ぶ。 ・ 日常生活で使われている慣用句（心を打たれる）の意味の適切なものを選ぶ。 ・ 文章全体の構成の効果を考えて、くふうの説明として適切なものを選ぶ。	・ 文の中で漢字を正しく使う。 ・ 文の中の主語と述語の関係に注意して文を正しく書く。 ・ 目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして、詳しく書く。 ・ 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べながら考えをまとめる。 ・ 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える。

【算数】

◎定着度が優れていた学習内容	▲定着度に課題の残った学習内容
・ 異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合が分かる。 ・ 180° の角の大きさが分かる。 ・ 分度器の目盛りを読み、180° よりも大きい角の大きさを求める。 ・ 示された表現方法で空間の中にあるものの位置を表現する。	・ 円周率を求める正しい式を選択する。 ・ 0.4m で 60g の針金の 0.2m と 0.1m の重さを求める。 ・ その針金 1m の重さを求めるときの長さとう重さの関係を数直線に表す。 ・ 針金 1m の重さを求める式を選ぶ。 ・ 1つの点の周りに集まった角の大きさの和が 360° であることを言葉や式で書く。 ・ 棒グラフとメモを関連付け、何に着目しているかを考えながら書く。 ・ 棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを適切に判断する。

【理科】

◎定着度が優れていた学習内容	▲定着度に課題の残った学習内容
・ 腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉（関節）を書く。 ・ 流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉（堆積）を書く。 ・ 海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果をもとに判断した内容を選ぶ。	・ 野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ。 ・ 大雨による流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、そのわけを書く。 ・ モーターの回転を逆にする回路を選ぶ。 ・ 回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ。 ・ 目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の位置の変化に合わせた光電池の適切な位置や向きを選ぶ。

確かな学力の育成に向けて

【国語】

- ・ 「漢字を文の中で使うこと」は定着が十分でないことが分かりました。例えば「せつ極的の下線部は面せき・成せき・せき任のどれと同じ漢字を使うか」などの問題です。漢字の読みや書き取りの練習だけでなく、同じ音で読む漢字や似た形の漢字、間違えやすい漢字等を例文とともに掲示するなどして定着を図りたいと思います。
- ・ 複数の資料から目的に応じて情報を読み取り、表現することに課題が見られました。

複数の情報から内容にあったキーワードを見付け出して丸で囲んだり、キーワードを関連付けて文章を組み立てたりする活動を取り入れていきたいと思います。

- ・自分の考えを記述することに抵抗のある児童が少なからずいます。授業において、自分の考えをもち、相手に伝わるように書くことを大切に指導していきます。

【算数】

- ・問題場面を適切に読み取り、式に表すことに課題が見られました。図に表して捉えたり、より簡単な場面で考えたりすることを習慣付けていきたいと思います。
- ・乗法や除法の式の意味が十分でない児童がいることが分かりました。一つの場面を表した複数の式について、学級で話し合ったり、根拠の説明を吟味し合ったりする学習を多く取り入れていきます。
- ・グラフから情報を読み取ることに課題が見られました。あるグラフから読み取った情報が適切かどうか学級で検討したり、理科や総合的な学習の時間等に自分でグラフを作ったりする活動も取り入れていきます。

【理科】

- ・観察・実験の結果を整理し分析して考察した内容を記述することに課題が見られました。理科以外の教科でも、根拠を基に自分の考えを表現したり、友達の考えを聞き、それを基に自分の考えを振り返ったり、見直したりするなどの話し合いを重視した学習活動を大切にしていきます。

荻っ子のすがた（児童質問紙調査の結果から）

◎ 基本的生活習慣が身に付いています。

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と答えた子供が多くいました。集中して勉強するには、元気な心と体が何より大切です。そのためにも、よい生活習慣を身に付け、継続していったほしいと思います。しかし、放課後や週末に何をして過ごすことが多いかの設問には、「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」と答えた児童が一番多くいました。今月から、家庭学習がんばりカードにもその項目を加えました。自分で自分の生活を振り返ってみましょう。



◎ 地域の行事やボランティアに積極的に参加しています。

「住んでいる地域の行事に参加している」子供や「地域社会でボランティアに参加したことがある」と答えた子供が多くいました。荻生地区は、公民館祭りや収穫祭等の地域の行事やさわやか挨拶運動等で地域の方とふれ合う機会が多いことが特徴です。それらを通じて、子供は地域の方々の期待を感じ、認められることで喜びを感じることができます。「地域で育つ荻っ子」であること再認識しました。

▲ 家庭学習に課題が見られました。

「家で、自分で計画を立てて勉強している」「家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している」と答えた子供はあまり多くありませんでした。習い事やスポ少等で多忙なこともその要因だと思いますが、中学入学を視野に入れ、計画的に家庭学習に取り組むことができるようにしましょう。

健やかな心と体を育むために

1 嫌なこと・苦しいことに直面したときを成長のチャンスとしましょう。

☆ あきらめない心と態度が育っている子供は、正答率が高い傾向にあります。

- ・自分で決めたことや決められたことは、辛くてもがんばる経験をさせましょう。
- ・結果を出すことも大切ですが、努力する過程を成長につなげましょう。

2 認め励ます言葉を多くし、やる気や積極性につなげましょう。

☆ 認められた経験が多く自尊感情の高い子供は、正答率が高い傾向にあります。

- ・自己有用感（人の役に立っていると感じる）や自尊感情（自分自身を価値ある存在と感じる）が高まるような関わりや言葉掛けを大切にしましょう。
- ・他との比較でなく、努力や進歩の様子を認め、励ましましょう。

3 基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。

☆ 規則正しい生活をしている子供は正答率が高い傾向にあります。

- ・決まった時刻の起床と就寝に努め、しっかりと睡眠時間を確保しましょう。
- ・テレビの見方やゲームや動画等の利用時間について家族で話し合い、ルールを決めて守らせましょう。

4 規範意識や自分を律する心を育てましょう。

☆ 学校のきまりや友達との約束を守る子供は、正答率が高い傾向にあります。

- ・ルールやマナー、約束の意味とその大切さを子供たちに伝えましょう。
- ・様々な人と関わる経験を通して、社会や集団の一員であるという意識や自覚をもつことができるようにしましょう。

5 読書に親しむ環境を整えましょう。

☆ 読書に親しんでいる子供は、正答率が高い傾向にあります。

- ・本を読むことは文字に親しみ、世界を広げることに繋がります。読書を楽しむ習慣を育てましょう。
- ・新聞を読むことも社会への関心を高めたり、新しい言葉を習得したりするのに有効です。



6 自学ノートを積極的に活用しましょう。

☆ 家庭学習に計画的に取り組んでいる子供は、正答率が高い傾向にあります。

- ・低学年から、目当て（10分×学年）の時間を少しずつ伸ばすことで、家庭学習の習慣化に取り組みましょう。
- ・教科書を使って予習・復習（特に分からなかった問題を中心に）やテスト勉強に取り組みましょう。